

問 村長2期目の重要課題は
答 観光振興と子育て支援



田中榮一 議員

【村長2期目の村政課題】

問 村長が考える村政の大きな課題を2つあげると。

答 1点目は、国際山岳リゾートとしての魅力を高めるため、広域観光の推進体制を整えることは不可欠。来年4月に設立予定の三市村DMOでは、海外プロモーションや共通チャトルバスの運行を予定。あわせて、観光局のあり方も局と相談しながら検討していく。

2点目は、人口減少社会にあつては、将来を担う子供や子育て世代に対する支援は最重要課題。今年、子育て世代包括支援センター「おひさま」を開設する等、子育て施策に力を入れているが、引き続き、子育て世代からの要望が多い事項の実現に努めていく。

また、建設を予定している新たな図書館は、子育て施設との複合化を考へており、子育てがしやすい村づくりの核となるよう検討を進めていく。

問 高額になった天狗山荘の改修、老朽化した村営頂上宿舎等、今後山小屋経営には多額な費用が掛かる可能性がある。今後の経営方針を示す時期が来ていると思ふが。

答 各山小屋は、それぞれ特色を持った山岳拠点であるが、今後、施設改修や、規模の見直しを含めた経営方針の検討を進めていかなければならない時期に来ている、特に近隣に民間経営施設がある頂上宿舎については、その経営規模・形態など「在り方」について関係者と協議していく。

【再生可能エネルギー政策】

問 自然エネルギーを活用し山岳自然環境を守る村づくりを進めていることは大事なこと。前回の質問で、小水力発電建設に向けて研究入りしたいとの答弁だったが、その後の進捗状況は。

答 現在検討している中では、平川小水力発電所のように、従来から国が導入を推進してきた農業用水を活用した小水力発電所の建設は、実現性が高く、事業費的に見ても、国庫・県費補助事業を活用することにより、非常に有利に建設が可能であると考へる。今後も引き続き研究を進めていくが、補助金を受けずに村が単独で事業を行うとなると、関係機関との協議や、技術的な問題と併せて財政面の問題もクリアしていく必要がある。

問 「地域を守る自然エネルギーの活用基本計画」(仮称)を策定する考へは。

答 村では、平成19年に白馬地域新エネルギービジョンを策定しているため、予定している地球温暖化が進行している中で、エネルギー施策については、できることから地道に取り組みたい。

問 小水力発電建設の可能性は
答 実現性が高いので研究していく



来年4月に入学します。
お兄さん、お姉さんよろしくお願ひします。(白馬南小運動会にて)